

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター歩路		
○保護者評価実施期間	令和6年12月7日		令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年12月27日		令和7年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月27日		令和7年1月9日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	30	(回答数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・「丁寧な説明や具体的な支援方法の提供」と「訪問先施設からの質問に対して、適時・適切に対応」していることは事業所の強みと考えます。	・日頃から、訪問先施設からの質問や問い合わせに対して、迅速かつ丁寧に対応し、相談しやすい関係づくりに努めています。	・保育所等訪問支援実施後、児童発達管理責任者等と振り返りを行い、改善点や課題等を整理し、訪問支援員として、専門的知識・支援の質の向上に繋がります。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先施設での課題や困りごとの軽減につながるような支援の提供（助言）については、課題があります。	・訪問先施設へ助言を行った際、訪問先施設が実際に取り組めそうな支援であるか、取り入れられそうな場合、どれくらいの頻度で支援が提供できそうか等、丁寧なアセスメントが必要です。また、訪問先施設が支援を取り入れた結果、こどもにどのような変化があった等についてのモニタリングが不足しています。	・訪問支援実施後の訪問先施設での支援の経過についての把握に努めます。
2			
3			